



校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和7年1月17日
第32号

自分のために みんなのために 学校のために よい3学期を過ごしましょう

第3学期がスタートして早くも二週目が終わります。皆様、ご挨拶が遅くなりましたが、今学期もよろしく願いたします。

★寒さの中でピリッと心をひきしめて臨んだ始業式＆書初め大会

去る8日の始業式では、今年度のまとめと次年度への希望をもつために大切な意味のある今学期を、一人一人の力でよい学期にしようと全校に向けて話しました。短い学期ですが、子供たちにとって大事な行事が目白押しです。卒業を控えた6年生から新リーダーの5年生へ、学校生活の引き継ぎという面でも思い出に残る学期にしたいものです。

始業式に引き続き書初め大会を行いました。この日の体育館内の温度は6℃。ジェットヒーターを点けてもなかなか温まらない中でしたが、皆真剣そのもので作品を仕上げていました。その姿が大変立派で頼もしく思いました。

9日・10日の校内書初め展には29組のご家族の方が来校されました。ありがとうございました。



★新たな目当てを忘れず、よい運命を引き寄せましょう！

さて、この時期は各教室に「新年の目当て」がずらりと掲示してあります。一人一人思うところがあっての言葉がずらりと並んでいて、立ち止まり読むほどに「なるほどな」と感心します。冬休みの宿題だった学年が多いので、ほとんどの子はまさに年頭所感としてこうした目当てを考えたのでしょう。

初めはぼんやりとした何気ない考えであっても、「目当て」という言葉に表すことで、より明確な意思として意識されるものです。あとはその言葉が日頃の具体的な行動に移っていきますように…。

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」

という有名な一節があります（有名すぎて、元は誰の言葉なのかについては諸説あるそうです）。自分の目当てを心に留め、小さな具体的な行動を積み重ねていくことがよい習慣となり、ゆくゆくはよい運命を引き寄せる力になる…。何だか夢物語かおとぎ話のようですが、希望に満ちた新年ですから、思い切ってこの一節を信じてみるのもよいのではないのでしょうか。

ただ、子供の目当ての中にはやや抽象的で型にはまったようなものもありますので、具体的な行動につなげるためのアドバイスや環境づくり、日々の見守り・見届けには、大人の力が必要かもしれません。

「みんなにやさしくする」→「まずは毎朝、出会った人に挨拶をしよう」（→家族ぐるみで挨拶をする）

「規則正しい生活をする」→「朝は6時に自分で起きよう」（→個人用の目覚まし時計を用意する）

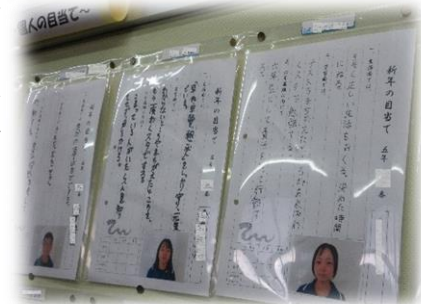
小さなことからコツコツと。三日坊主は「あるある」ですが、気を取り直して「五日目からまた行動」を繰り返すのも大丈夫です。1年間続けることできっと物事がよい方へと動いていくことでしょう。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（ ）



チャレンジテストに向けて練習しています

県の小学校長会では、「各学年で学習する漢字を読み書きしたり計算したりするなどの力をすべての児童に身に付けさせ、学習意欲を引き出す」ことをねらいとして、毎年この季節にチャレンジテストを実施しています。再テストも含め、80点以上の子には認定証を交付します。

本校でも、1月20日(月)～24日(金)を漢字と計算のチャレンジテスト週間として予定しています。その1週間前となる今週は、どの学年も練習に取り組みました。各学年、2学期末までに学習した内容を基本として出題されることになっているので、自主学習の「わくスタノート」でも漢字練習や計算練習に取り組んでいる子が多いようです。今週末もたっぴり練習できそうですね。

ただ(漢字もですが)計算問題は特に、まちがいがあればすぐ直すのが大切ですので、やりっぱなしではなくその日のうちに答え合わせ(丸付け)をするようにしていきましょう。お子さんが自分ではできない場合は、家族の方で見届けをお願いします。



シリーズ「教室におじゃまします」1月14日(火)6年体育科の巻

高学年は保健領域の「病気の予防」として、「喫煙、飲酒、薬物乱用等の行為は健康を損なう原因となること」を学習します。この日はその中でも「喫煙の害」の学習でした。導入として教科書にある2つの肺の写真を見比べました。



【健康な肺】のあとに【たばこを吸い続けた人の肺】を見ると、「うええ!」「終わっとる…!」の声が響きました。それぐらい衝撃的な写真でした。清水先生は、「たばこの害って肺が汚れるだけ?」などと問いかけながら本題に入っていました。

教科書には「すぐに体に現れる害」として、吐き気、食欲減退、咳、目まい、息切れ等が箇条書きで挙げられていました。

また、喫煙によって指先に血が届きにくくなること、がんの発症率や死亡率が高くなることが写真やグラフで示されていました。さらに、たばこに含まれる有害物質として「がんの原因になるタール」「中毒性があるニコチン」といった言葉もあり、たばこの害が強く意識できました。

実際に、学校の敷地内や公共施設が全面禁煙になっていることに気付いている子が多くいました。「周りの人に悪影響がある」「受動喫煙も危険」といった発言やつぶやきも多く出て、知識理解の定着を感じました。

ちなみに清水先生も「たばこを吸ってもいいことはなさそうだなと思ったので、若いときから(※今でも十分若いですが…)これまで一度も喫煙したことがありません!」と断言しておられました。頼もしい大人のモデルですね。



<おまけのひとりごと> 今日1月17日は阪神・淡路大震災からちょうど30年の日ですね。私個人の記憶に残る一番古い大震災でもあります。以前中学校の教員をしていたときは、震災後の神戸に修学旅行で訪れたことが2回あり、復興途中の町並みを見たり、「人と防災未来センター」で語り部さんの話を聞いたりしました。たとえば、倒壊した自宅に挟まれて動けないまま火の手に巻かれていく家族を助けられなかったという話。また、避難場所となった小学校で子供たちが自主的にボランティアとなり、炊き出しの順番を守らないヤクザのお兄さんに「順番を守ってください!」と注意していた話など、断片的ですが今でもよく覚えています。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名 ()